



一般質問

中村 良夫 議員

地域から 学校がなくなる



は否定しない。羽茂小の統合が決まったが、卒業後中学は羽茂中学校へ行けると思っている。進む中学校がどこだか分からない統合の進め方でいいのか。

【質問】 小規模校における、教育の利点・魅力・効果等についてどのように評価されているのか。

【質問】 なぜ学校統廃合を進めるのか、行革で財政的な面から進めるのか。

【教育長】 教育力の低下を招かないように行革を進める観点で我慢してもらおう。

【教育長】 学習面で、子どもに応じたきめ細かな指導ができる。学校生活面では、家族のようなふれあいの中で人間関係がづくりあがれ、学級担任と児童・生徒が互いに信頼関係を結びやすい安定した教室の中で学ぶことができる。と考える。

【質問】 佐渡ヶ島の教育は「こうだ・こう考えている・こうしていくんだ」と言うビジョンに基づいてつくられた統廃合計画なのか。

【教育長】 検討委員会をつくり、統合・整備計画と学校基本構想に基づき国の改革と合わせ進めている。

【質問】 問題点は、小中学校の全体像が示されていないまま進めていることである。小木・羽茂・赤泊中学校、3校を1校にする計画で羽茂地内と考えるが、実際はどこだと考えているのか。

【教育長】 検討委員会を立ち上げて、検討している。

【質問】 民主的に進めること

一般質問

村川 四郎 議員

成果が見えない 定住促進事業



【質問】 定住促進事業は過疎化が進む佐渡にとって非常に重要な事業だが3年経過しても成果が見えない。唯一のソフト面支援の島暮らしサポーター制度が活かされてない。予算を付けて島暮らしサポーターに全面支援を依頼すべきだ。

【企画財政部長】 支援として空き家情報やハウスクリーニング、現地訪問時の旅費の一部補助制度等がある。5月には島暮らしサポーターの協力で農業体験ツアーを実施した。当事業は企画財政部だけでは限度があり、今後は各部署が横断し連携しながら事業を進める体制をつくり進めていく。

【質問】 カーフエリーの乗用車往復2000円はこれま

での「安からう悪からう」の佐渡観光を象徴する愚策だ。何を見せ、何を食わせ、何を体験させるのか。本物を目指す長期計画が必要だ。また観光シーズンの週末に往復2000円は安すぎる。平日かオフシーズンに実施なら理解するが、そこまで佐渡観光を安売りする必要はない。

【市長】 高速代1000円で新潟まで来た観光客を同じ1000円で佐渡へ渡って貰うというインパクトを与える試みである。

【産業観光部長】 長期計画は観光戦略会議を立ち上げて計画策定中であり、見る・食べる・体験する事に少しでも質の高いものを提供できるようにして佐渡観光を活性化したい。

【質問】 産業建設常任委員会では乗用車以外の宿泊客に

もおみやげを自主的に渡して差別をしないとの約束で予算を認めたが観光協会や旅館組合へは伝えたのか。

【副市長】 努力をすると委員会ですらし、ホテル・旅館組合へ伝えたが実施するしないは各旅館のやる気の判断に任せた。

【耕作放棄地の利用について】

【質問】 耕作放棄地解消が一次産業活性化と景観維持につながる。現在田畑合わせて1062haの放棄地があり、景観上からも頭の痛い問題である。農業委員会の協力や和牛増頭事業等を活かす議論を進めていく。

【小規模障がい者施設の支援を】

【質問】 小規模通所施設への運営支援が慈愛の心が無く、事務的すぎて実態を把握していない。

【市長】 小規模通所施設は引き続き支援を継続しながら地域活動支援センターへの移行を進めていく。

長期低迷の佐渡観光の問題点

【質問】 カーフエリーの乗用車往復2000円はこれま

での「安からう悪からう」の佐渡観光を象徴する愚策だ。何を見せ、何を食わせ、何を体験させるのか。本物を目指す長期計画が必要だ。また観光シーズンの週末に往復2000円は安すぎる。平日かオフシーズンに実施なら理解するが、そこまで佐渡観光を安売りする必要はない。

【市長】 高速代1000円で新潟まで来た観光客を同じ1000円で佐渡へ渡って貰うというインパクトを与える試みである。

一般質問

本間千佳子 議員

経済対策戦略本部
の活躍に期待

【質問】 昨年9月15日のリーマン・ショック以来、資本主義がいつまでも繁栄を続けていくと思われたアメリカで、実体を伴わない金融操作を志向し、大変な危機に見舞われ、日本も苦悩している現状にある。以前、ソビエト社会主義が繁栄していた頃、世界を社会主義が支配すると思っていたが崩壊をした。危機の背後には近代文明の誤りがあり、人間を自然の一員として捉える自然中心の考えが必要と言われるようになって来ている。5月29日、平成21年度補正予算算5兆8億円が成立している。財政支援として地方自治体向けに総額2兆円を超す基金事業が設置されているが、経済危機対策の観点から迅速に準備怠らない対応を求められている。取組み状況をたずねる。

【市長】 今回成立した国の補正予算は、医療・介護・環境などが計上されており新潟県は条例化等準備している。事業に対する計画申込みは今後進められるので、県にアプローチを真剣にやっていく。

【質問】 4月16日に設置したと聞く高野市長を本部長とした「佐渡市経済対策戦略本部」の活動状況をたずねる。

【市長】 前回の20年度2次補正は、準備のできない状況にあり本予算の前倒しの色彩が強かった。今回の経済危機対策については、地域活性化に5億7000万円、安全・安心に17億1000万円、将来の投資に2億円を3本柱の事業として使い、目玉として佐渡の手前まで来て

いるものと呼び入れるために、カーフェリー航送料の片道1000円を打ち出した。予約が前年度の実績を超える等、一早く取組んで大きな反響をいただいている。プロジェクトを係長クラスの若手職員で設置し、本部を4回、プロジェクトチームを8回開催している。

【質問】 厚生労働省は今回の経済危機対策の一環として、一定年齢に達した女性に5歳刻みで、子宮頸がん及び乳がんの検診料の自己負担分を免除する措置を講じているが取組み状況をたずねる。

【福祉保健部長】 女性特有のがん検診推進事業であり、6月23日に県の説明会を受けて早急に取組む。



女性特有のがん検診
無料クーポン券サンプル

一般質問

小杉 邦男 議員

二宮産廃施設の
環境協定は住民との
約束を基に早期解決を

【質問】 二宮産廃施設の環境保全協定は、関係者が協定検討委員会を設け、協定案を作成、これを各関係集落自治会が総会を開き合意した経緯がある。この協定案を基に協定締結がされなければならぬ。市が現在進めている協議は住民との約束と違うものである。

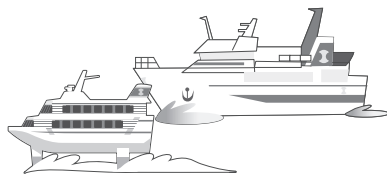
【市民環境部長】 経過認識に十分な点があった。元にかえて全体会議を開き話し合っていく。

【質問】 経過を踏まえた早期解決への努力を求める。

【市長】 努力する。

【質問】 民間会社である佐渡汽船への車輛航送料の値引き補填は問題と考える。

【市長】 佐渡汽船は第三セクターとして運営される佐渡島民の船である。冷え込む佐渡観光の緊急経済対策として採った政策である。



【質問】 介護保険施設の配置と利用実態はどうなっているか。介護職員の配置に不足があるのではないかとの利用者の声を聞くが、現状をどのように把握しているか。

【福祉保健部長】 特養施設、老健施設とも満床である。他にデイサービス施設等があるが、介護職員は各施設に基準配置がなされているものと考えている。

【質問】 子育て家庭特別支援金の施策を今後制度として

継続する考えはないか。

【市長】 今後については国の動向をみて対応したい。

【質問】 職員が多いのは職員に責任があるような非難の議論もされているが、これは合併がもたらしたものである。住民サービス部門へ重点的に職員配置すべきである。時間外勤務についても議論があるが、各課の業務実態を把握し適切な業務管理が必要である。

【市長】 職員は能力、経験等を総合的に判断して配置している。

【総務部長】 時間外勤務については事務の効率化、職員の健康管理等を考え行動指針を作り各部署で取り組んでいる。





一般質問

加賀 博昭 議員

夕張市のような 財政にはならないはず



が示した「佐渡市会計別地方債残高」の約1000億円の借金返済に、国が約559億円負担し、市が約418億円負担するという説明は間違っていないか。

【質問】 気迫に欠ける市政の現状は放置できない。第1は両津病院の余り病床を「すこやか両津」の介護ベツトにする計画は市の申請に誤りがある。第2は国体の「採火式」に火がつかない。第3は、4月の情報で失業者は1443人もいる。この人達を救う方策として「ミニ特養」事業がある。国は二床当たり350万円、29床で1億150万円出す。この事業で土建業者も助かるし、介護の資格取得者は月額12万円で職業訓練が受けられる。21年度・22年度に具体的計画はないがこれらは気迫の欠如に起因する。直ちに改善すべきだ。

については、介護待機者も538人いる。この事業は何としてもやりたい。
【質問】 第4の質問は「財界にいがた」の「第2の夕張市が現実視される」の記事を見て市民が不安に感じている。私

借金額の25・8%は下水道特別会計の借金約252億円

約1,000億円の借金残高

【市長】 第1の病院問題については、福祉保健部と連携して近く申請を出し直す。第2の国体「採火式」の問題は申し訳ない。第3の「ミニ特養」

各年度別 会計別借金残高表

単位：千円

会計別	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度 (見込)
一般会計	59,532,670	60,776,766	61,857,049	60,468,793	59,078,871	55,761,093
土地取得特別会計	46,963	42,013	36,426	30,175	23,925	5,862
簡易水道特別会計	5,160,748	5,549,255	5,807,820	6,054,327	6,078,306	6,342,279
下水道特別会計	19,805,983	21,600,464	22,708,865	23,591,756	24,368,620	25,184,286
宅地造成特別会計	26,552	18,461	10,370	2,275	0	0
水道事業会計	6,998,321	6,980,734	7,082,239	7,366,469	8,127,868	8,590,990
病院事業会計	2,576,051	2,390,319	2,191,835	1,979,701	1,752,711	1,764,365
計	94,147,288	97,358,012	99,694,604	99,493,496	99,430,301	97,648,875

20年末の借金残高976億4,887万5,000円
返済は国558億5,515万7,000円（交付税）57.2%
佐渡市417億9,371万8,000円（一般財源）42.8%



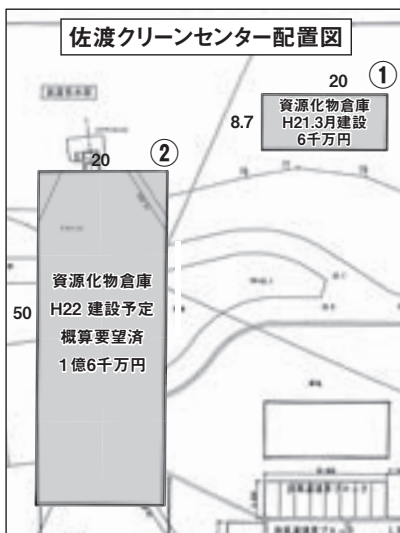
一般質問

近藤 和義 議員

血税のムダ遣いと全市民を だます行為は許されない



私にとらなければならない。
【質問】 両津クリーンセンターはいつ廃止するのか。
【市民環境部長】 焼却は1か所で十分可能なので遠くない時期に両津クリーンセンターの廃止を決定する。



【市長】 南佐渡クリーンセンターは本年4月から廃止しており毎年8000万円の経費削減ができる。焼却は1か所で可能であり、両津クリーンセンター廃止による経費削減額は年2億円なので統合するが準備のために少し待つてほしい。

【質問】 本年3月に廃プラ処理施設を6000万円で建設したが、狭くて使い物にならず、図の通り来年1億6000万円をかけて代わりの物を建てる計画しているが誰が設計したのか。

【質問】 分別集収はリサイクルはすべて焼却している。

【市民環境部長】 廃棄物対策課の職員が設計した。

【質問】 現在、発泡スチロールはどのように処理されているのか。

の行為は誰が責任をとるのか。

【廃棄物対策課長】 廃プラの量が多く、この施設で分別できないので発砲スチロール

【市長】 責任は

平成21年度 予算 佐渡市環境衛生検討会答申より

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
2	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
3	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
4	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
5	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
6	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
7	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
8	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
9	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
10	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
11	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
12	1,516	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	24,000
計	18,192	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	288,000

注1: 60%のラインのみで稼働: 60%/日処理での必要日数/月
注2: 60%のライン稼働: 120%/日処理での必要日数/月
5月と8月でも10日間の2回運転でよいと思われる。
※佐渡クリーンセンターに統合した場合、運転員の増員が必要であるが、両津クリーンセンターの運転員を優先して採用すること。

常任委員会活動報告

総務 文教

本委員会に付託された議案6件について審査の結果、一部意見を付け原案どおり可決しました。

(1) 名誉市民条例の制定について

社会文化の進展に著しく貢献した者（市民または市にゆかりの深い者も含む）に名誉市民の称号を贈り、永くその功績と榮譽を顕彰し、社会文化の興隆のため条例を制定するものです。

(2) マリンスポーツハウスの設置及び管理に関する



マリンスポーツハウスの現地視察

る条例を廃止する条例制定について

海洋性レクリエーションの普及とマリンスポーツ体験施設として羽茂地区に設置されている施設を民間に無償譲渡

するため条例の廃止をするものです。

(3) 財産の無償譲渡について

前記施設を第三セクターの（有）佐渡マリンスポーツに建物

を無償譲渡するため議会の議決を要するものです。

※この第三セクターは資本金550万円で、市が150万円の出資をしている。

(4) 災害対応特殊ポンプ自動車購入契約の締結について

災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD—I型）を購

入するため事前に議会の議決を要するためです。購入後は、相川消防署に配備されます。

(5) 一般会計補正予算（第2号）について

既定の予算に歳入歳出それぞれ4億4550万7000円を追加し予算の総額を433億2887万7000円とするものです。

① 歳入の主なもの

○ 地方交付税

1億6523万円

○ 県支出金

2億3818万円

○ 市債

② 歳出の主なもの

○ 旧水津中学校校舎の解体費

4000万円

○ 乳児及び子どもの医療費助成事業費

894万円

○ 佐渡クリーンセンター資源物倉庫の下屋増設事業費

1984万円

○ 新型インフルエンザ発熱外来運営費 746万円
○ 緊急雇用創出事業費 2006万8000円
○ 漁港整備事業費 2億5002万円

(6) 一般会計補正予算（第3号）について

既定の予算から歳入歳出それぞれ1440万7000円を減額し、予算の総額を433億1447万円とするものです。国民健康保険特別会計の平成20年度分の精算に伴う関係費目の減額も含まれます。

〔意見〕

増大する廃プラスチック受入れの現状に鑑み、増設は必要と思料するものの、現資源物倉庫の建設にかかる見通しの甘さを厳しく指摘せざるを得ない。